

## 東武鉄道における高架化工事他の現状

竹ノ塚駅付近連続立体交差事業  
清水公園～梅郷間連続立体交差事業  
とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業  
春日部駅付近連続立体交差事業  
大山駅付近連続立体交差事業

**Vol.17**

東武スカイツリーライン竹ノ塚駅付近連続立体交差事業については、2012年に工事着手してから約10年を経て、2022年3月に上下緩行線が高架化され2か所の踏切が除却されました。

東武アーバンパークライン清水公園～梅郷間連続立体交差事業については、野田市駅部の2面4線化、駅舎の本設化を目指し、引き続き高架橋躯体工事を進めています。

とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業については、11月の上り線高架化切り替えに向けて準備工事を施工しております。

東武スカイツリーライン、東武アーバンパークライン春日部駅付近連続立体交差事業については仮設駅舎工事を進めています。

東武東上線大山駅付近連続立体交差事業については7月に東京都と施行協定を締結し、事業に着手いたしました。

これらの連続立体交差事業は、それぞれ足立区、千葉県、墨田区、埼玉県および東京都が施行する都市計画事業であり、東武鉄道はこれに協力して工事を推進していきます。

いずれの工事も、ご利用になるお客様、沿線にお住いの皆様には何かとご不便、ご迷惑をお掛けしますが、安全最優先で早期完成を目指しておりますので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。



**TOBU  
POINT**  
トブ ポ



毎日のお買物や電車利用でたまる!  
東武グループのポイントサービス

# » とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業 «

曳舟～とうきょうスカイツリー間ににおいて、11月27日(日)の初列車より上り線の高架区間、上りホームおよび上り仮駅舎の供用を開始する運びとなりました。これにより、高架区間内にある伊勢崎線第2号踏切の遮断時間が短縮され、交通渋滞も緩和されます。

今後も、地域の皆様のご協力のもと、引き続き下り線高架橋工事等を進めてまいります。



# 竹ノ塚駅付近連続立体交差事業

竹ノ塚駅付近連続立体交差事業については、2022年3月20日初列車より上下緩行線が高架化され、2か所の踏切が除却されました。高架切替工事にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

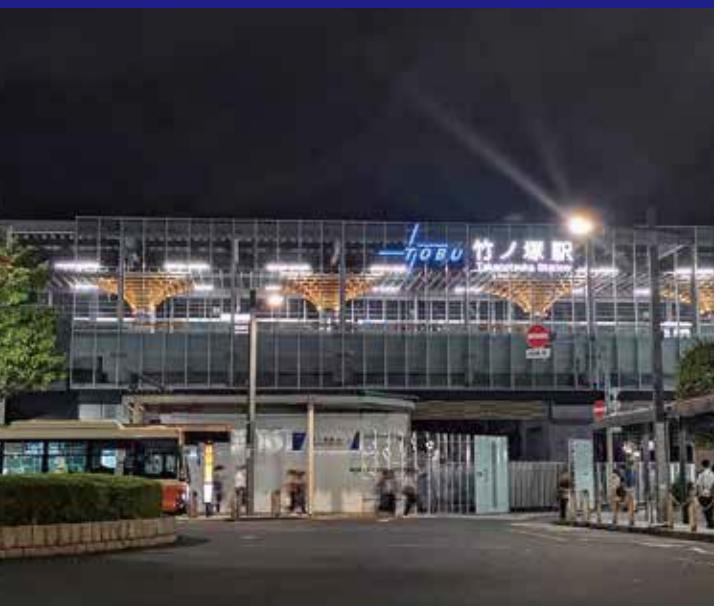
同日から供用開始となった新駅舎は、2018年9月に行ったアンケート結果を反映して「明るい、シンプル、自然的」なデザインとしています。今回は新駅舎の見どころについてご紹介します。

ホーム上 木やぐらとルーバー



緑豊かな竹ノ塚の新たなシンボルとして、ホーム上には木やぐらを設置しました。昼はルーバーの隙間から自然光が降り注ぎ、木漏れ日のような印象を与えます。

東口駅前広場から見た高架のホーム



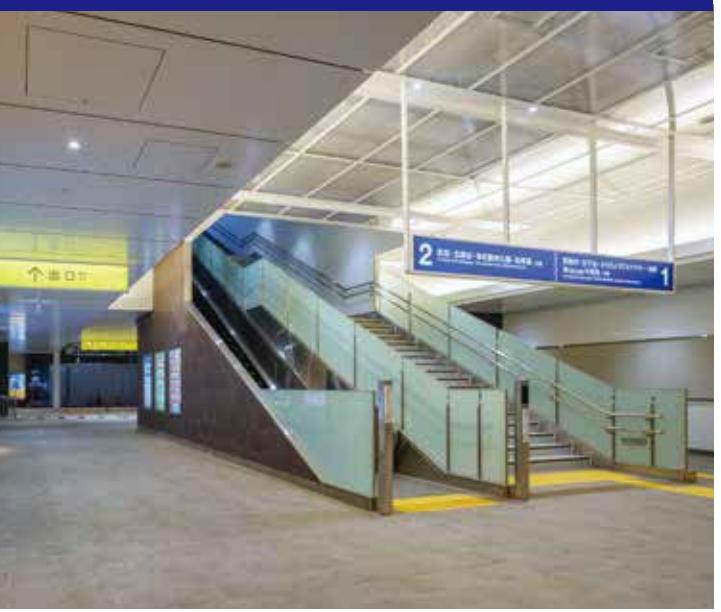
夜にはライトアップされた木やぐらがガラス越しに街を温かく照らします。東西の駅前広場に面する部分の外装はガラスとすることで東西の街に連続性をもたせました。

旅客トイレ



旅客トイレ入口には足立区の友好都市である栃木県鹿沼市産の木材を使用したベンチを配置しています。子育て世帯にも快適にご利用いただけるよう、子どもトイレや授乳室も完備しました。

改札内コンコース



コンコースはアースカラーで統一し、自然的な印象を与えるように意識しました。ホームに向かう動線は半透明の素材で折り上げ天井を構成し、上昇感を演出しています。

# 清水公園～梅郷間連続立体交差事業

野田市駅部では、2023年度中の2面4線化、高架下駅舎の本設化を目指し、高架橋躯体工事を推進しています。愛宕駅部では、東西自由通路が完成し、野田市にて駅前広場を整備中です。

野田市駅構内 高架橋工事状況



愛宕駅東口駅前広場付近からの駅舎



# 春日部駅付近連続立体交差事業

春日部駅付近連続立体交差事業については、現在、東口において仮駅舎工事を進めているほか、東西連絡通路(富士見町地下道)東側出入口延伸に向けたインフラ切り回し等を実施しています。

春日部駅東口仮駅舎工事状況



東西連絡通路(富士見町地下道)東側出入口付近



# 大山駅付近連続立体交差事業



大山駅付近の約1.6km区間で連続立体交差事業を進めてまいります。鉄道の高架化により8か所の踏切が除却され、踏切での交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上を図ります。さらに、鉄道により分断されていた地域が一体化され、安全で快適なまちづくりが実現されます。

本事業は、2030年度の完成を目指しております。工事期間中は、お客様および近隣にお住まいの方々にはご不便をおかけすることになりますが、安全を最優先に工事を進めてまいります。



この印刷物は、適切に管理された森林からの材料を含むFSC®認証紙を用いて「森林資源保全」に、石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたインキを用いて、「大気保全」に配慮しており、グリーン基準に適合した印刷資材を用いて、GP認定工場で印刷しています。またこの紙は印刷用の紙に再生できます。

お問い合わせ：東武鉄道(株) 改良工事部  
竹ノ塚工事事務所 ☎03-5962-2484  
春日部工事事務所 ☎03-6807-1461  
新坂穂駅 ☎048-736-6071

2022年10月発行／東武鉄道(株)改良工事部